



広報たしろ

No.377

昭和60年1月号

田代町企画管財課編集

1,550部発行



昭和六十年 スタート!!

あけまして
おめでとう
ございます

今年は丑年、あなたは牛とい
うとどんな牛を連想しますか。

のんびり、のっそり、それとも厚
いビフテキ、牛肉の貿易自由化問
題、と思いはさまざまでしょう。

さて、今年の丑年、モウ烈に生
きるもよし、のんびりと人生を反
芻しながら生きるもよし、ともか
くも角つき合わずに仲よくいき
たいものです。



田代町議会議員 右田 始

あけましておめでとうございます。
輝かしい昭和六十年の新春を迎えるにあたり、謹んで町民の皆様方のご健勝とご繁栄をお祈り申し上げます。

昨年は引き続き低迷する我が国の経済状況の中で財政再建が強力に推進され、地方を通じて厳しい財政運営となりました。農業関係についても農畜産物自由化問題は一応の決着がつけられたものの、価格は依然低迷し暗い状況が続きましたが後半景気も回復



田代町議会議員 右田 始

以上、種々申し述べましたが、私共は今後、益々一致協力して「明るく、豊かで、活力に満ちた、住みよい町づくり」に邁進したいと思っております。

過ぎし昭和五十九年の回顧と反省の上に立ち、初心に返って昭和六十年への考え方の一端を申し上げまして新年のごあいさつとします。

基調となり、ようやく先行き明るさの見えだした年でした。このようなことから本町においても一般会計予算総額が対前年二年連続マイナスを記録する状況で、国、県補助による建設事業費等の落ち込みが大きな原因となっております。

しかしながら、このような厳しい財政環境の中にあっても健全財政を堅持しながら、道路交通、土地基盤、生活基盤の整備や産業振興、教育文化の向上等、町民福祉の向上につながる町の推進と合わせて農業生産面においても茶は晩霜被害もなく良好な成績を納め、低迷を続けた子牛価格も後半ようやく回復を見せ初めました。更にタバコの収納価格も昨年を上廻る結果となり、明るさが見え出したことは農家をはじめ町民の皆様とともに喜びにたえません。

本年は、昨年末の町議会において議決された六十年度以降五年間の後期過疎地域振興計画を中心にして、本町の発展浮揚をかけた各般の施策が展開されますが、中でも昨年度より本格的取り組みがなされている村づくり一品運動の三品目については、農家所得の向上を目指す地場産業の振

田代町消防出初式
1月7日午前10時
田代小学校校庭

交通安全は家庭から 交通安全家族会議

「道路を渡るときは左右の安全をよく確かめて」、「横断歩道は手を挙げて渡ろう」。

お子さんに言い聞かせる交通安全の注意事項はたくさんあります。しかし、小さなお子さんの場合、言葉の意味が分からなかったり、分かっているのに遊びに夢中になっていたりすると、注意を忘れて急に道路に飛び出してしまふ、といったことが少なくありません。

お子さんに交通安全について話をするときは「手を挙げるのは、道路を渡る姿が運転手さんによく見えるようにするためよ」「道を渡る時は左右をよく見て、車が止まってから渡りましょうね」と、できるだけ分かりやすく説明してあげましょう。

正月は家族のそろう時間が多いことと思います。この機会にお父さん、お母さん、お子さんと、それぞれの立場の交通安全について話し合い、また、話し合ったことを実行して、この一年を事故に遭わない良い年にしてください。



新年のあいさつ



田代町長

猪鹿倉 義則

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

輝かしい昭和六十年の新春を迎えるにあたり、心から皆様方の御健康と御多幸をお祝い申し上げますと共に昨年一年間、町議会をはじめ町内各種機関団体並びに町民各位の積極的な御指導御鞭撻に對し心から感謝申し上げます。

さて、過ぎ去りし昭和五十九年を回顧いたしますと、昨年は我が国に気象台が設置されて以来の珍しい記録だと云われて居ります様に、日本本土に台風が一回も上陸せず又、本土接近もなく水稲等は全国的に平年一〇六％の増収と云われ、農林業を営む者にとっては比較的恵まれた年であったと云われる半面には、新聞・テレビ等で報じているように、野菜等は豊作貧乏の年であったとも云えましよう私共の町でも、早期水稲は

例年売上げの八〇％以上が一等米であったのに比べ、昨年は一等米は四〇％以下で、普通水稲も約六〇％が一等米の実績でありました。

基幹作目の緑茶の販売額は晩霜の被害も少なく、前年に比し約五千万円以上の増収になったのははじめ、たばこも前年より九百万円以上の増収でありました。

村づくり一品運動の推進作目の「キヌサヤ エンドウ」は、生産量は増加したにもかかわらず、売上額は昨年並の実績でした。

それと、長い間価格の低迷が続いて居りました仔牛の価格が、去る九月のセリ市から値上りをみせつつあり、最盛期の価格にメス仔牛が今一歩と云うところでありますが、価格が徐々に上昇の傾向にあることは、生産者の皆様と共に喜ばしいことでもあります。

最近やや鈍化の傾向ではあります。私共の町は依然として過疎町であります。

これを脱却するために、去る十二月議会に於いて、後期過疎地域振興計画を議決していただき、本年六十年度から六十四年度の五ヶ年間に総事業費三十一億円余をかけて、道

路・基盤・教育・福祉施設の整備及び村おこし事業等、ハード、ソフト事業を含めて実施する予定です。

山村振興事業、新農業構造改善事業、農村基盤整備事業、畜産基地建設事業、農村振興村づくり事業、教育福祉事業等、全ての事業が過疎地域振興計画に網羅されて居り、町民の皆様の理解と協力を得ながら、各種補助事業と取り組みながら町民所得の向上に努めたいと考えています。

又、過去五ヶ年間に亘り、関係地区民に協力をお願い申し上げていました、肝属南部国営農用地総合開発事業も、ようやく同意率一〇〇％近くに達し、いよいよ昭和六十年から六十一年度に亘り全体実施計画にはいり、昭和六十二年から総事業費二百四十億円の巨費を投じ、南部四ヶ町で山林、原野六三〇ヘクタール、既耕地四二〇ヘクタールを農用地に造成する大事業であり、この事業が成功するか否かで、田代町の未来が開かれるか否かなの大事業であるかと考えられます。

相当長い年月を要すると思いますが、広域営農団地農道の建設と併行して事業を進めて行く所存であり、今後共町民皆様方の御協力をお願いいたします。

最後に村づくり一品運動の取り組みですが、一昨年末推進目として選定された「しいたけ」「キヌサヤ エンドウ」「柿」については、早速昭和五十九年度から、国や県の補助対象になるものは、その対象事業として、又一部クヌギ苗等に対しては、町単補助対象として取り組むことにいたしました。

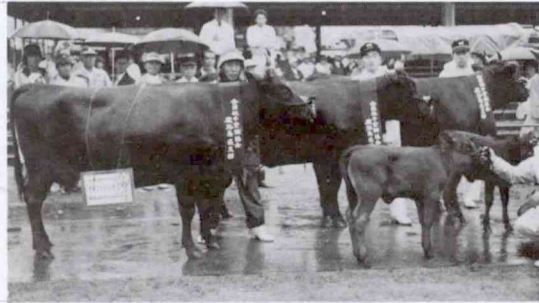
この運動は今や全国的な運動として盛り上がり、それぞれの県や、市町村でも「村自慢」づくりの仕事として取り組んでいる処であります。決して一朝一夕にして実を結ぶことは難しいものと考えます。

私共は、本町の基幹作目につぐ第四、第五の作目として育成したいものと考えています。

本町は、町民の皆様が交通ルールを良く守り、死亡事故「〇」「二〇〇〇日（昭和六十年一月三十一日）」を達成する見込みです。

この記録を達成させるために町民総力を挙げて前進しましょう。

昭和59年 主なできごと



○原沢幸氏 第33回県畜産共進会、育種高等登録牛部門で農林水産大臣賞、グランドチャンピオン賞獲得

○村づくり一品運動の推進、展開（しいたけ、キヌサヤエンドウ、柿）地場野菜生産団地育成事業集出荷施設（事業主体 なんぐう農協）完成

○農畜産物売上代金

茶(荒茶) 3億8350万円(対前年比約5000万円増)

葉たばこ 1億6166万円(対前年比約900万円増)

仔牛 2億1300万円(対前年比約1200万円増)

○農免農道立神地区完成(含鶴戸野三橋)

○近代的な簡易耐大構造3階建の公営住宅12戸、溝下団地に完成

○最新鋭の消防自動車購入、中央分団に配置

○昭和60年度から南大隅高校田代分校生徒募集停止

教 育

○青年団、商工会青年部による花瀬太鼓誕生

○全国青年大会出場(別府真・宮園守君)

○高校学生会県教委表彰

○田代中学校南日本花だんコンクール特選に入賞

○郡民体育大会(ゲートボール 優勝、野球 準優勝)

○田代小PTA親子読書会県図書館大会で表彰

○大根田子ども会地区子ども会大会で表彰

○中学2年生立志自立自興教室

○青少年健全育成の実施(巡回劇場、青少年読書教室、青少年教室、モデル子ども会指定)

○郷土を知る文化財学習事業(大原小、田代中)

一般行政

○松田進氏 助役再任(3期目)

○池田一雄氏 教育長再任(3期目)

○12年ぶり農業委員会委員選挙の投票が行われた
会長 平石健二氏 会長代理 川畑善志氏

○選挙管理委員会委員決まる

井手籠 親氏 白挑 普氏 徳田 新吉氏
竹之内 嫡夫氏

○消防団人事

団 長 中島 薫氏

副団長 川前 正郎氏 大園 和則氏

○役場機構改革 企画管財課新設

○町振興大会 町文化祭同時開催

○過疎地域振興計画策定(計画期間、昭和60年度～64年度)

○からいも交流で3人の外人さん来町

マーク・ラビナ(アメリカ) マイク・シェルブ
(アメリカ) 黄 春 秀(中華民国)

○鶴園末吉氏 秋の生存者叙勲で勲五等瑞宝章受賞

○第35回全国植樹祭記念

昭和58年度肝属地区植樹祭が本町富田青年の山で開催、全国植樹祭で県緑化功労者として猪鹿倉義則氏、迫森竹氏受賞



表彰を受けた大根田子ども会

新成人になって



安田 昌子

今、二十歳になって、これから社会の中で一人としてみなされるんだという喜びは、正直なところ、実感として湧いてこない。しかし、今まで私たちが生きてきた二十一年間の、何か困った事がある、人に頼るとい、う甘い生活とは別



福留 春雄

去年は、「来年は二十歳だから大人になるのよ」などという、大人の仲間入りができること、あこがれていました。が、正直言って今の心境は期待と責任とが入り交じって複雑な気持ちで、いっぱいです。

しかし、これまで、他人に背負わすことのできた、社会上的責任というものを、これからは誰にも頼ることなく、自分自身で背負って生きてゆかなければならぬのだなという気持ちがある。また、これが私達が、二十歳になった証としての、大きな代償ではないかと考える。私は、中学の時に学んだ、高村光太郎の詩「道程」が好きである。その一節に、「僕の前に道はない、僕の後ろに道はできる。」という句があるが、実際、私達の前途は洋々としたものである。

しかし、これも自分自身の力で切り開いてゆかなければ決して、その期間に歩んだ人生の中には、これといって、やったという実感は、湧いてこないであろうと思う。人間の一生というものは、人類の歴史に比べたら、とても長く、長いものである。だが、私達の祖先は、この長い期間に後世に、様々な文明を残している。また、私達にも何かを造り出し、発見し、残せるチャンスを与えられているのである。

人 口			
昭和59年12月1日現在			
住民基本台帳人口	前月に対する増減		
男 2049人	△ 3人		
女 2212人	△ 6人		
計 4261人	△ 9人		
世帯数 1450戸	1戸		

てきた事を糧として、今、幕開けされた二十代という人生を一步、一步、踏み締めて、生きてゆこうと考える。
(瀬口石材店勤務)

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

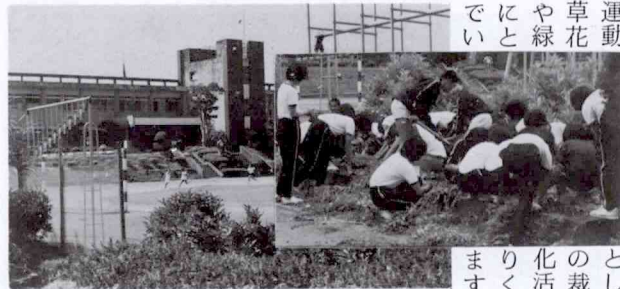
掲載していません

篤志寄附金
田代町社会福祉協議会
さきに御逝去されました御遺族より、香典返しを廃止され、社会福祉協議会へ多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますと共に御冥福をお祈りします。
小石田 昌子様
田中 虎一様
大寺 基一様
坂元 基一様
門松 カエマツ様

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません



花の植栽に励む生徒

花いっぱいをめざして
— 田代中学校 —

居は氣を移すという言葉ど
おり、環境は人間教育の第一
条件と言われますが、本校で
は心豊かで心身ともに健全な
生徒の育成をめざして、環境
の美化・緑化を努力点の一つ
として生徒・職員・PTAが
一体となつて活動が続けてい
ます。今日の教育で強くさけ
ばれている郷土を愛し、郷土
の発展に尽くす活力に満ちた
生徒を育てるため郷土に根ざ
した教育を充実させ、師弟同
行・親子同行による一日一汗
運動
草花
や緑
にと
でい
ます。



として
の栽培
化活動
りくん
ます。

新しい年をむかえて

二学期の活動を振りかえると、若いエネルギーをぶつけた体育大会、十四年ぶりに優勝した女子バレー部の建闘、さらに過去と未来への創造というテーマで学習の成果を発表できた文化祭などみのりの多い学期でした。

いよいよ、新春とともに五十九年度の最後の学期を迎えますが、一・二学期の反省にたつて一年間の総仕上げに努力しなければなりません。特に

新しい年をむかえて

本年度は、先日実施されたサ
ンライフ南日本花壇コンク
ールにおいて二ヶ年連続入選に
続いて特選に入賞しました。
今後もさらに人間教育の場
にふさわしい環境を整え、心
身ともに健全で心豊かな田
代の子ども達がたくさん育
つことを期待しています。



表彰をうける小池先生

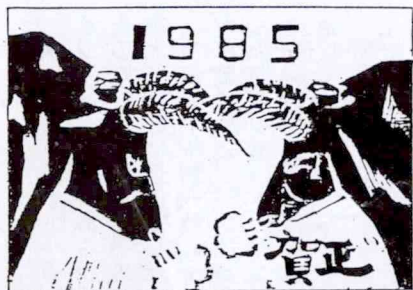
三年生にとっては、田代分校の募集停止という新しい事態をむかえて、生徒はもちろん学校や家庭でも今まで以上に進路に対する関心が高まり、進路相談の充実をはかるとともに、一・二年生も含めて、学力の向上を最大の課題としてとりくんでいます。



新人バレーボール大会優勝!!

川路陽一さん入選に輝く
MBC写真コンテスト
県内アマチュア写真家の祭
典・第十九回MBCカラーコ
ンテストに猪鹿倉の川路陽一
さんが見事入選されました。
川路さんは昨年から開講し
ておりますカメラ講座の学級
長として活躍されています。
今回は県下約七百点の応募
作品の中から三十五人が入賞。
川路さんは、初心者部で
めでたく入賞されました。
今後の活躍が期待されます。

A. HAPPY
NEW
YEAR!!



単色木版画 鮎川淳君（大原中2年）

老人クラブと
子ども会の集い―花瀬老人クラブ

去る十一月二十五日（日）
花瀬老人クラブ主催のおとし
よりと子ども会の集いが開催さ
れました。

午前九時、花瀬公園に集合
老人クラブ員20名、小・中学
生70名、子ども会育成会長10
名が参加し、まず花瀬地区の
町道、県道の空かん捨てを実
施。夏休みを中心に利用客の
多い花瀬公園一带の清掃活動
に汗を流しました。

花瀬老人クラブは、川路義
彦さんを会長に59名の会員で
毎週木曜日に定例会を開き会
員相互の親睦を深めています。
主な活動としては、年四回の
花瀬公園の奉仕活動、花瀬神
社の清掃活動、美化活動とし
て地区内に花壇を設け年間を

通じてきれいな花を咲かせ町民に喜んでいただいています。

当日は、空カン捨いの後、公園内のゲートボール場を利用して親子三代のゲートボールを楽しみました。

子どもたちは、ゲートボールを習い、休憩時間を利用して昔のいろいろなことを聞いて大変喜んでいました。

今後は、町内各地域でこのようなふれあい活動が展開されることと思います。



ゲートボールを楽しむ



ゲートボールを楽しむ!!

教育だより

新年を迎えて

教育長池田一雄



明けま
しておめ
でとうご
さいます。

輝かしい希望に満ちた新春を
お迎えのことと心からお祝い
申し上げます。

昨年一年間町民の皆様には
大変お世話になりました。厚
くお礼を申し上げます。

学校では、各校とも学力の向上、児童生徒の育成ということを主眼に努力して参りました。なお、特に先生方には自前の自作による授業計画の設定や課題を進めるよう、お願いして参りました。やはり先生方の手塩にかけた教育が、子どもたちの心に焼きつくものだと思います。

また、社会、地域、家庭が一体となった教育が必要になって参ります。その意味で朝読み夕読み、山坂達者、一日一汗運動、郷土教育など昨年から引続き進めているところでありますが、その成果は今一步というところであります。

地域、家庭のご理解と、ご協力により更に成果が期待できるものと思っております。

中学校においては、高校の再編に伴い、これに対応できる態勢・生徒や父兄に不安のないよう努力して参りたいと思っております。

青少年の健全育成については町を挙げて取り組んでいたところであり、特に各種団体や、機関の活動によってその成果はみるべきものがあつたと思います。今後更に各方面のご意見をあらゆる施策に反映して参りたいと思います。県では自立自興の運動が提唱されて参りましたが、これは青少年だけの問題だけでなく、大人の私どもにも相通ずるものと思います。それぞれの小組合において自立自興の運動を盛りあげてゆく必要があると思います。自分たちの小組合は、自分たちの集落は、自分たちの力で興そう、そのためにはどのような組織がよいかを検討してみたいものだと思います。本年度はこのことについても一しよに考えて参りたいと思います。スポーツ活動や文化活動を通してお互いのコミュニケーションをはかり、活力に満

私
の
抱
負

ちた田代町の健設に邁進したいと思ひます。また、各種學級等も従來通り開設致しますので、たくさんの方が御参加くださるようお願い致します。

「立てばはえ、はえばあゆめ
の親心」立ちはじめの前は、
家族総がかりで手をかしてや
るが、歩くようになれば、あ
としらずにないはしないか。
入学当初は、忘れ物はない
ね？、ハンカチは？、ちり紙
は？、と手とり、足とり思い
を寄せているが、暫くすると
忘れ去られてしまう。時には
筆箱も調べてみては!!。鉛筆
一本持っていない子どもさえ
ある。自分の手足でひとりだ
ちするには、親や身辺の人々
が思いを寄せ、手をかして欲
しいものである。

子ども達は、溺愛や甘えよ
り、厳しさを期待している。
六年生を対象にしたアンケ
ート調査

一、心がやさしくて何にでも
積極的に進める人間（男1
女1）

二、心がやさしくて好かれる
人間（女2）

三、わけへだてなく、人をか
わいがることのできる人間

四 心が広くて、正直な人間
(男2、女2)
五 人の気持ちがかかる人間
(女1)
六 仕事上手で親切で、友情
の厚い人間(男1)
七 思いやりがあり、やさし
い人間(男2、女7)
八 心が広く、やさしくて、
勇気のある人間(男5)
九 心がやさしくて、根気強
い人間(男3、女1)
十 素直で、誰からも尊敬さ
れる人間(女1)
将来の子ども達の夢
一店員(男1) 三歌手(女
1) 三、スチュワードス(女
2) 四看護婦(女5) 五
デザイナー(女1) 六公務
員(男7) 七保母(女3)
八パイロット(男1) 九栄
養士(女1) 十教員(女2)
十一建築士(男2) 十二調
理士(女1) 十三美容士(女
1) 十四商業(男1)
子どもの夢は果てしなく広
がっている。また、自分に厳
しくなろうと、もがいてもい
るようである。青少年の自立
自興は、郷土がもっているす
ばらしい自然や人間にふれ、
学習することで成立する。
親子のふれあいの中で語り

活動し、手づくりの味をかみしめることで、郷土のよさや親の有難さがわかって、素直な心と良い生活習慣が身につき、夢がはぐくまれるのである。今年こそひとりでできる子どもに！

校内なわとび大会

好天に恵まれ良い記録ができた。

○ 前回しとびで十五分間を限度にクリアした児童
三年生一名、四年生一名、五年生四名、六年生六名。

○ 二重とびの回数は、最高三二五回で、三百回以上が四年生一名、六年生一名。

○ あや後ろとびは、五分二十五秒が最高、五年女子。

○ 後ろ回しとびは、十五分以上が二名、うち一名は一年女子もいた。

○ 多人数とびは長縄を使い、最高二十二名はいった。

○ 五人組長縄とびは、連続一一六回で、六年生が最高記録であった。

記録は、努力と練習の継続である。

体力をつくり、忍耐力を培い、精神力を養うことで、調和のとれた、健全な児童が育っていくのではないだろうか。

- 楠 (クス) 幹まわり2.0m前後 約100本
- タブ 幹まわり3.0m前後 約80本
- イタジイ 幹まわり2.5m前後 約30本
- イス(ユス) 幹まわり2.5m前後 約30本

至内之浦

●印が大牟礼峠自然林
大牟礼峠 町有林

至麓

今から六〇年まえ、現在の
県道串良・内之浦・大根占線



指定文化財 大牟礼自然林

シリーズ

田代の文化財
大牟礼自然林 No.1

(七〇号線)が開通する以前
大原地区の人々が麓地区に行
くの、いわゆる「新田越え」
をした道があり、その道の両
側に楠の太木を中心とする自
然林が残されている。

樹種及び本数はつぎの通り
であるが、これ以外にも松や
山桜等の太木がみられる。

グループ紹介
大原卓球同好会 No.1

昭和五十五年九月に、町教
委主催により卓球教室が開催
され、十週の教程を経て既存
していた大原卓球同好会と
合併、大原卓球同好会を設立
した。会長、新村進、他副会
長会計各一名を置き、毎週水
曜日に練習を行い、四年が経
過している。また、会費とし
て月二百円を徴収し、活動の
資金源としている。現会員数
は二十数名で、職業は、会社
員、公務員、団体職員、大工
農業etc.:と多種多様である
麓、川原地区からの参加も多
く広範囲に渡った人々の集り



大原同好会の皆さん

になっている。活動の目標と
しては卓球を通じて、体力作
り仲間作りになればと思っ
ている。実際の活動としては、
週一回の練習の外、町民卓球
大会への参加、年一回の同好
会内の試合を行っている。同
好会内の試合ではダブルスを
実施し、抽選でパートナーを
決め試合をしている。そして
ささやかに表彰式もやり賞品
を出している。また今年は余
興だが、ボーリング大会をや
り、卓球とは違った楽しさも
味わった。恒例となった、忘
年会、新年会は、全会員が参
加して、親睦を更に深める絶
好の場となっている。これか
ら無事故で、良き体力作り
仲間づくりの場となるよう、
頑張っていきたいと思いま

楽しかった歩こう大会



日高先生から説明を聞く

「秋の紅葉をみながら草花を
観察しよう」をテーマに去る
十二月二日(日)、あすの田代を
つくる町民運動推進協議会た
くましい心身づくり部会主催
の第四回サンライフ歩こう大
会が実施されました。

この事業は、県が提唱して
いるサンライフ運動ー明るい
生活づくり・たくましい心身
づくり・長生きできる健康づ
くり・美しい郷土づくりーの
一環として、自然に親しみな
がら体を鍛え、親子、地域住
民のふれ合いを深め、あわせ
て路傍の草花を観察し自立の
精神を育てるために実施され
ました。

今回の歩こう大会には、最
高年齢の鶴戸野の大山武夫さ
ん(八十才)から最年少の麓住宅
家村秀人君(四才)まで、お年寄
り、父母、青年団員、小・中学
生まで百五十名が参加しました。

標高約四百メートルのスカ
イラインからながめるふるさ
との町、大原地区、麓地区は、
雄大で絶好の景色でした。
当日は、午前八時三十分、
新田峠に集合、竹之内嫡夫さ
んの開会のあいさつ、コース
の説明の後全員一列縦隊で出
発しました。

林道では、町指定文化財の
「大牟礼峠自然林」をはじめ、
野イチゴやグミなど秋の山草
や子どもたちの理科の教材に
でてる植物などを観察しま
した。

途中、大原小学校校長、日
高純蔵先生の指導で、たくさ
んの植物や木の名まえを覚え
ました。

新田林道、池野林道を通り
ゴールの花瀬公園まで七キロ
メートルを三時間かけて全員
が無事に踏破しました。

花瀬公園では、さっそく閉
講式に入り参加者全員が完歩
証をもらい記念撮影を行い「
植物の勉強ができ、すばらし
い歩こう会だった」と満足感
にひたり別れをおしました。

新春ファミリーバドミントン大会

一月六日(日)、午前十時大原
中でバドミントン大会を開き
ます。家族づれで参加しよう。